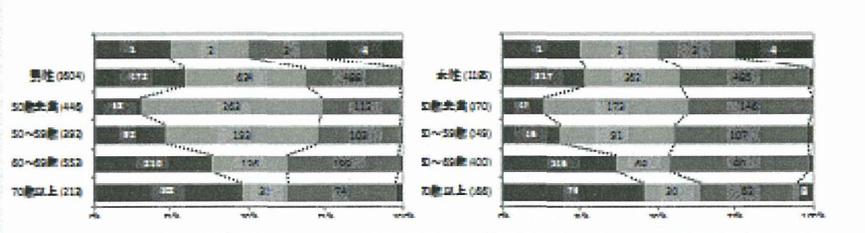


図表 8f-2 許容通院拘束(F-6)×年齢・性別(H-1, H-2)

F-6 治療効果が明らかな場合、通院などの拘束はどのくらいまでなら、受け入れられると感じますか。(単一回答)

	1 2 3 4				※この内は有効回答数を分母とする割合		
	必要があればいつでも	仕事や家事に支障がない程度	経済的負担にならない程度	その他	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	789 (28.3)	585 (31.4)	573 (24.0)	41 (1.3)	2,939	150	2,789
男性	472 (29.4)	524 (31.9)	488 (20.4)	20 (1.2)	1,679	75	1,604
50歳未満	68 (13.2)	48.3 (31.0)	112 (23.1)	2 (0.7)	454	8	446
50～59歳	52 (23.5)	19.3 (46.2)	103 (26.3)	4 (1.0)	402	10	392
60～69歳	210 (38.0)	10.6 (24.8)	120 (24.0)	6 (1.4)	579	20	559
70歳以上	102 (47.0)	3.2 (11.0)	74 (24.7)	3 (2.3)	244	31	213
女性	217 (20.0)	28.2 (20.2)	485 (20.9)	21 (1.0)	1,260	75	1,185
50歳未満	49 (13.2)	17.3 (46.8)	146 (22.5)	2 (0.5)	374	4	370
50～59歳	46 (18.7)	9.1 (24.7)	107 (21.0)	3 (0.6)	280	11	269
60～69歳	146 (26.5)	6.8 (11.0)	180 (23.0)	8 (1.5)	430	30	400
70歳以上	76 (48.8)	3.0 (18.1)	52 (31.3)	8 (4.8)	196	30	166

男性年齢 ($\chi^2=207.7$, $df=3$, $p<0.000$)・女性年齢 ($\chi^2=153.5$, $df=3$, $p<0.000$)・性別 ($\chi^2=38.0$, $df=1$, $p<0.000$)

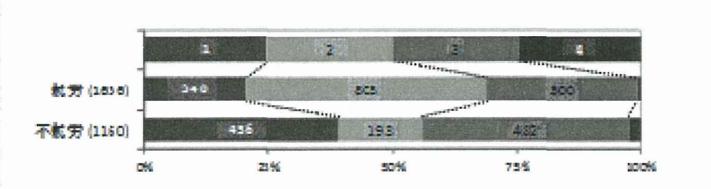


図表 8f-3 許容通院拘束(F-6)×就労(H-4)

F-6 治療効果が明らかな場合、通院などの拘束はどのくらいまでなら、受け入れられると感じますか。(単一回答)

	1 2 3 4				※この内は有効回答数を分母とする割合		
	必要があればいつでも	仕事や家事に支障がない程度	経済的負担にならない程度	その他	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	796 (28.3)	585 (31.4)	582 (24.0)	42 (1.3)	2,971	155	2,816
就労	340 (29.7)	60.3 (47.7)	500 (21.7)	13 (0.8)	1,717	61	1,656
不就労	456 (39.3)	19.3 (16.8)	482 (21.8)	29 (2.5)	1,254	94	1,160

$\chi^2=319.5$, $df=3$, $p<0.000$



治療効果が明らかな場合、通院など拘束の許容範囲について尋ねたところ、有効回答者の35.4%は「仕事や家事に支障がない程度」と回答している。次いで、「経済的負担にならない程度」が34.9%となっている(図表 8f-1)。男女別には、「仕事や家事に支障がない程度」は男性が多く、「経済的負担にならない程度」は女性が多かった。年齢別には、男女ともに「必要があればいつでも」は高齢になるほど増え、「仕事や家事に支障がない程度」は若年ほど増加する傾向が見られる(図表 8f-2)。病態別には、「必要があればいつでも」は肝がんが多く、「仕事や家事に支障がない程度」は慢性肝炎が多い(図表非掲載)。就労/不就労では、「必要があればいつでも」「経済的負担にならない程度」は不就労が多く、「仕事や家事に支障がない程度」は就労が多い(図表 8f-3)。

9. 情報認知

図表9-1 情報認知(F-2)



図表9-2 情報認知(F-22)×年齢・性別(H-1,H-2)

H-22 下記のうち、正しいと思うものすべてに○をつけてください。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	有効回答者数	無回答	合計回答者数
1	B型肝炎ウイルスは、血液を介して感染する										2,343	278	2,621
2	B型肝炎ウイルスは、血液が付着したものを介して感染する可能性がある										1,643	278	1,921
3	はげな拭き取りに、生活上の感染予防効果が期待										2,034	278	2,312
4	ワクチンで感染を予防することができる										1,693	278	1,971
5	従来のB型肝炎ウイルスは、乳幼児期に感染すると慢性化する										1,334	278	1,612
6	最近日本に増えてきているB型肝炎ウイルスのタイプは、成人で初めて感染しても慢性化することがある										843	278	1,121
7	B型肝炎ウイルスの病気の進行の程度は、個人により差が大きい										2,116	278	2,394
8	B型肝炎ウイルスは、C型肝炎ウイルスとウイルスの性質が異なる										2,144	278	2,422
9	B型肝炎は、C型肝炎と治療方法が異なる										1,693	278	1,971
10	B型肝炎は、C型肝炎と治療薬の処方方法が異なる										1,131	278	1,409
TOTAL	2,343 (92.8)	1,643 (60.0)	2,034 (74.9)	1,693 (61.8)	1,334 (49.4)	843 (30.7)	2,116 (77.1)	2,144 (78.2)	1,693 (61.7)	1,131 (41.2)	2,621	278	2,899
男性	1,821 (92.8)	1,181 (60.0)	1,581 (74.9)	1,221 (61.8)	779 (49.4)	529 (30.7)	2,079 (77.1)	2,105 (78.2)	1,484 (61.7)	1,112 (41.2)	1,870	182	2,052
50歳未満	422 (92.8)	309 (60.0)	267 (74.9)	340 (71.0)	254 (68.5)	162 (45.3)	358 (98.0)	326 (77.4)	266 (62.9)	221 (51.2)	454	20	474
30~49歳	325 (92.8)	249 (60.0)	266 (74.9)	221 (64.4)	192 (56.0)	102 (29.8)	293 (77.2)	297 (84.4)	244 (60.7)	162 (44.2)	402	28	430
40~49歳	494 (92.8)	274 (60.0)	292 (74.9)	224 (61.2)	244 (61.2)	151 (40.7)	399 (71.7)	416 (78.2)	319 (60.3)	162 (41.2)	579	52	631
70歳以上	180 (92.8)	112 (60.0)	116 (74.9)	63 (61.2)	66 (61.2)	64 (61.2)	126 (61.2)	120 (61.2)	109 (61.2)	66 (61.2)	244	40	284
女性	1,059 (92.8)	698 (60.0)	699 (61.7)	616 (54.7)	355 (31.2)	249 (21.8)	204 (18.2)	226 (20.0)	207 (18.6)	491 (43.1)	1,200	101	1,301
50歳未満	342 (92.8)	227 (61.4)	210 (56.0)	221 (58.7)	199 (52.5)	124 (32.6)	204 (54.9)	229 (61.2)	223 (58.1)	164 (43.1)	274	16	290
30~49歳	222 (92.8)	132 (60.0)	199 (74.9)	192 (71.7)	119 (43.4)	61 (22.0)	191 (68.2)	191 (68.2)	151 (49.8)	119 (37.4)	260	18	278
40~49歳	351 (92.8)	209 (60.0)	272 (74.9)	229 (64.5)	192 (54.0)	115 (32.3)	294 (74.2)	315 (78.5)	234 (58.1)	144 (35.4)	400	34	434
70歳以上	140 (92.8)	78 (60.0)	89 (74.9)	75 (61.5)	67 (54.5)	49 (39.4)	110 (81.2)	121 (92.2)	89 (68.2)	55 (43.1)	198	25	223
χ ²	1.7	9.0	0.0	81.3	2.1	0.4	0.7	3.2	0.6	0.0			
p	0.187	0.003	0.955	0.000	0.150	0.512	0.400	0.072	0.425	0.991			
χ ²	21.0	41.2	64.9	194.0	21.1	11.1	14.7	22.0	12.7	24.6			
p	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.011	0.000	0.000	0.002	0.000			
χ ²	11.9	16.4	72.3	144.9	6.2	3.7	21.9	5.6	3.4	11.2			
p	0.000	0.001	0.000	0.000	0.010	0.051	0.000	0.022	0.144	0.002			

B型肝炎に関する情報について10の質問をしたところ、「B型肝炎ウイルスは、血液を介して感染する」が最も正答率が高く、正答率は有効回答者の92.8%となっている。次いで、「B型肝炎ウイルスは、C型肝炎ウイルスとウイルスの性質が異なる」で、正答率は有効回答者の78.2%となっている。(図表9-1)。

情報認知に関する質問で、正しいと思うものすべてに○をつけてもらったところ、もっとも正解率の高かったのが「B型肝炎ウイルスは、血液を介して感染する」で92.9%だった。次いで、「B型肝炎ウイルスは、C型肝炎ウイルスとウイルスの性質が異なる」(78.3%)、「B型肝炎の病気の進行の程度は、個人により差が大きい」(77.2%)と続く。逆に、最も正解率が低かったのは、「最近日本に増えてきているB型肝炎ウイルスのタイプは、成人で初めて感染しても慢性化することがある」で、30.8%だった。男女別には、「B型肝炎ウイルスは、血液が付着したものを介して感染する可能性がある」は男性の方が正解率は高く、「ワクチンで感染を予防することができる」は女性の方が正解率は高かった。年齢別には、有意差のあったすべての質問について、50歳未満の正答率が高かった(図9-2)。

表 III-2 エンテカビル治療満足度の構造

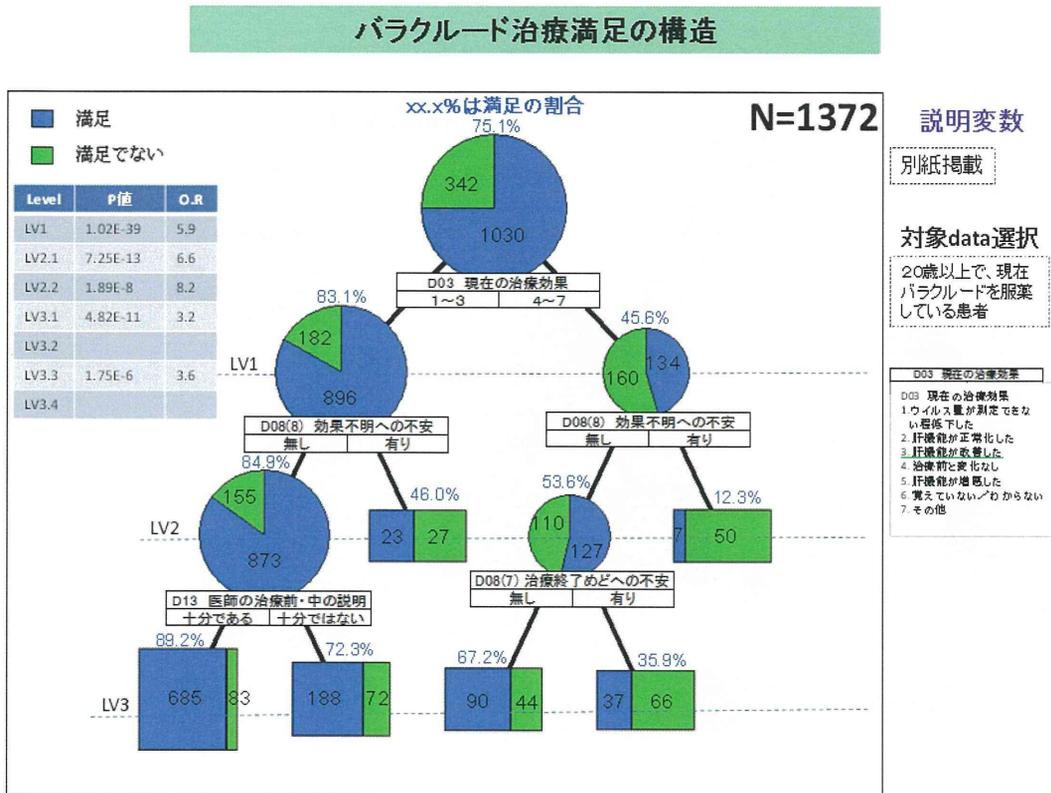


表 III-3 エンテカビル飲み忘れの構造

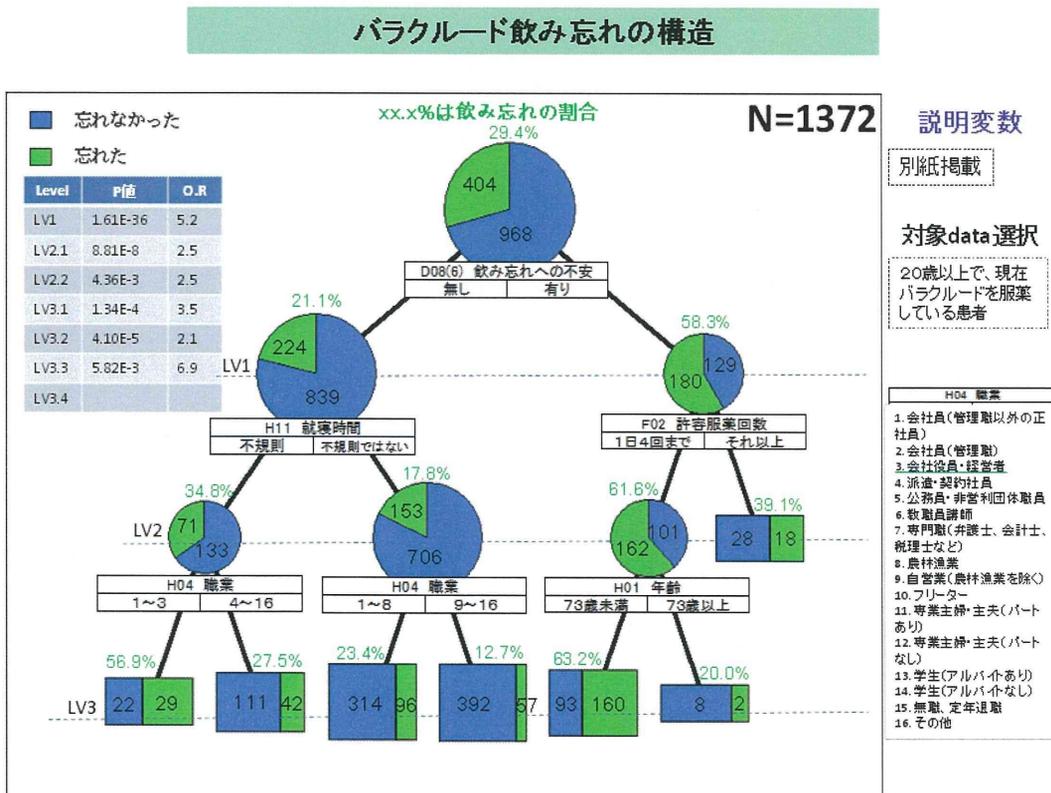
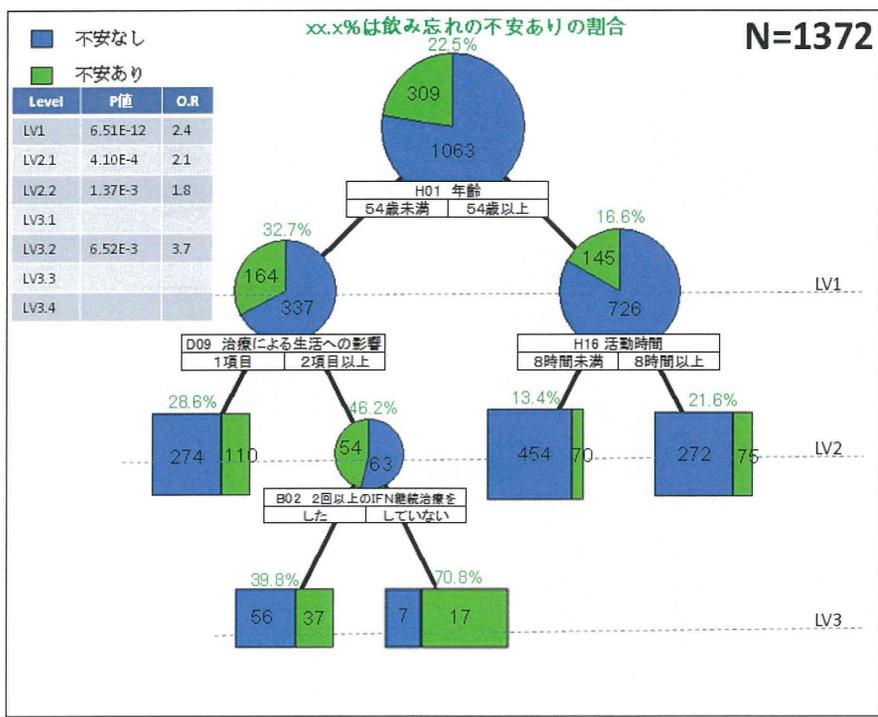


表 III-4 エンテカビル飲み忘れ不安の構造

バラクルード飲み忘れ不安の構造



説明変数

別紙掲載

対象data選択

20歳以上で、現在バラクルードを服薬している患者

第3章 研究成果の刊行に関する一覧表

【雑誌】

関連	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	Ito K, Yotsuyanagi H, Yatsuhashi H, Karino Y, Takikawa Y, Saito T, Arase Y, Imazeki F, Kurosaki M, Umemura T, Ichida T, Toyoda H, Yoneda M, Mita E, Yamamoto K, Michitaka K, Maeshiro T, Tanuma J, Tanaka Y, Sugiyama M, Murata K, Masaki N, Mizokami M; Japanese AHB Study Group.	Risk factors for long-term persistence of serum hepatitis B surface antigen following acute hepatitis B virus infection in Japanese adults.	Hepatology	59(1)	89-97	2014
○	正木尚彦	ウイルス肝炎に関する国の対策事業、公費助成や受診勧奨など	診断と治療	101(9)	1375-1380	2013
	正木尚彦、斎藤英胤、朝比奈靖浩	鼎談：ウイルス性肝炎はまだなくなるらない	成人病と生活習慣病	43(11)	1287-1304	2013
○	正木尚彦、坂口孝作、海嶋照美、荒尾元博、須田烈史、島上哲朗	座談会：肝炎ウイルス陽性患者に対する診療体制をどうするか	日本内科学会雑誌	103(1)	123-140	2014

第4章 研究成果の刊行物・別刷